

令和8年3月24日
県立上矢部高等学校
校長 加藤 和浩

令和7年度 「生徒による授業評価アンケート」の結果について（お知らせ）

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、本校では12月に「生徒による授業評価アンケート」を実施しましたので、その結果をお知らせします。また、これをもとに各教科において成果と今後の課題について協議しましたので、併せてお知らせします。生徒の皆さんも、授業に取り組む姿勢について改めて振り返り、一層学習に励むことを期待しています。

■質問項目

・授業の在り方について

- Q1 毎時間の授業や単元（内容のまとまり）のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
- Q2 単元（内容のまとまり）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。
- Q3 単元（内容のまとまり）の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。

・学習の状況について

- Q4 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた。
- Q5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。
- Q6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
- Q7 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。

■評価

- 4：かなり当てはまる
- 3：ほぼ当てはまる
- 2：あまり当てはまらない
- 1：ほとんど当てはまらない

問合せ先

担当 学習支援グループ

電話 045-861-3500

令和7年12月 生徒による授業評価 集計結果

質問項目 ○授業の在り方について

1. 授業の中で目標を確認したり、学習したことを振り返ったりする機会がある
2. 授業の中で、友人と話したり、文章を読んだりすることを通して、新しいものの見方や考え方を身に付ける機会がある
3. 授業の中で、先生から示されたことについて、自分の考えをまとめたり、解決方法を考えたりする場面がある

○学習の状況について

4. 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
5. 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
6. 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
7. 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

評価 4：かなり当てはまる 3：ほぼ当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：ほとんど当てはまらない

表1 回答総数、回答率

1年	2年	3年	国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報	キャリア	総探
261	238	227	1133	694	319	931	798	1248	632	1121	468	280	26	726
91.6%	82.9%	84.7%												

表2 各教科の集計結果

質問項目	1				2				3				4				5				6				7							
	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1	4	3	2	1
国語	36%	50%	12%	2%	37%	51%	10%	2%	36%	52%	10%	2%	30%	54%	14%	2%	33%	53%	12%	3%	32%	54%	12%	2%	31%	54%	12%	2%	31%	54%	12%	2%
地歴	43%	46%	10%	1%	40%	47%	11%	2%	37%	49%	12%	2%	34%	51%	13%	2%	35%	49%	14%	2%	35%	52%	11%	2%	37%	51%	10%	2%	37%	51%	10%	2%
公民	35%	41%	17%	7%	34%	41%	18%	7%	33%	45%	17%	6%	31%	49%	15%	6%	31%	46%	18%	5%	31%	49%	15%	5%	32%	49%	13%	5%	32%	49%	13%	5%
数学	37%	47%	14%	3%	38%	47%	12%	3%	38%	49%	11%	2%	39%	48%	11%	1%	32%	48%	17%	3%	34%	50%	14%	2%	34%	52%	11%	2%	34%	52%	11%	2%
理科	37%	49%	12%	2%	29%	51%	16%	4%	33%	53%	12%	2%	32%	52%	15%	2%	28%	51%	17%	4%	30%	55%	13%	2%	32%	53%	13%	2%	32%	53%	13%	2%
保体	36%	51%	10%	2%	38%	50%	9%	3%	35%	53%	10%	2%	37%	50%	11%	2%	33%	53%	11%	2%	33%	54%	11%	2%	34%	53%	10%	2%	34%	53%	10%	2%
芸術	26%	55%	16%	3%	26%	53%	17%	4%	30%	56%	11%	3%	34%	53%	10%	3%	28%	55%	14%	3%	28%	57%	13%	2%	28%	57%	12%	3%	28%	57%	12%	3%
外国語	31%	51%	14%	3%	34%	52%	11%	3%	30%	54%	13%	3%	30%	52%	14%	4%	28%	52%	15%	4%	28%	54%	14%	4%	30%	54%	13%	4%	30%	54%	13%	4%
家庭	26%	53%	19%	2%	24%	58%	16%	3%	25%	61%	13%	1%	27%	54%	16%	2%	22%	56%	20%	3%	23%	60%	15%	3%	24%	60%	13%	2%	24%	60%	13%	2%
情報	24%	56%	16%	4%	17%	56%	22%	6%	24%	55%	18%	4%	26%	55%	16%	3%	22%	52%	21%	5%	23%	55%	18%	4%	24%	59%	15%	3%	24%	59%	15%	3%
キャリア	23%	58%	15%	4%	31%	46%	19%	4%	27%	62%	8%	4%	19%	62%	12%	8%	38%	38%	19%	4%	31%	54%	12%	4%	19%	65%	12%	4%	19%	65%	12%	4%
総探	33%	52%	12%	2%	35%	54%	9%	2%	34%	54%	10%	2%	29%	53%	15%	3%	34%	53%	11%	2%	31%	56%	11%	2%	32%	54%	12%	2%	32%	54%	12%	2%

表3 各教科及び全体について、肯定的な回答（評価「4 かなり当てはまる」又は「3 ほぼ当てはまる」）をした割合を、質問項目ごとに示した結果

質問項目	国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	外国語	家庭	情報	キャリア	総探	全体
1	85.4%	88.3%	76.2%	83.4%	86.3%	87.0%	81.3%	82.2%	79.1%	79.6%	80.8%	85.3%	84.1%
2	88.3%	86.6%	74.9%	84.6%	80.3%	88.1%	79.6%	85.9%	81.8%	72.5%	76.9%	89.1%	84.6%
3	87.5%	86.2%	77.1%	86.8%	85.7%	87.9%	86.4%	83.7%	85.5%	78.6%	88.5%	88.8%	85.9%
4	83.8%	84.9%	79.3%	87.9%	83.7%	86.8%	87.0%	82.2%	81.8%	81.1%	80.8%	82.5%	84.3%
5	85.6%	84.1%	76.8%	80.0%	79.3%	86.9%	82.9%	80.6%	77.8%	73.6%	76.9%	87.3%	82.5%
6	85.9%	86.6%	79.9%	84.3%	85.0%	86.9%	85.1%	82.3%	82.7%	78.2%	84.6%	87.1%	84.7%
7	85.6%	87.9%	81.5%	86.7%	85.2%	87.1%	85.4%	83.5%	84.2%	82.5%	84.6%	86.0%	85.5%

表4 少人数指導の集計結果

質問項目\評価	4	3	2	1	肯定的
8. 少人数の授業では、発言や発表がしやすい	31.3%	44.2%	18.7%	5.8%	75.5%
9. 少人数の授業では、分からないときに先生に質問がしやすい	37.4%	41.9%	13.8%	6.9%	79.4%
10. これからも少人数の授業を続けてほしい	47.3%	38.3%	8.4%	6.0%	85.6%

令和7年度 「生徒による授業評価」の振り返り

質問項目

授業の在り方について

- Q1 授業の中で目標を確認したり、学習したことを振り返ったりする機会がある
- Q2 授業の中で、友人と話したり、文章を読んだりするを通して、新しいものの見方や考え方を身に付ける機会がある
- Q3 授業の中で、先生から示されたことについて、自分の考えをまとめたり、解決方法を考えたりする場面がある

学習の状況について

- Q4 授業の中で身に付いたことや、できるようになったことを実感することができた
- Q5 他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた
- Q6 授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた
- Q7 授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた

教科	成果	今後の課題
国語	各科目で肯定的な回答が80%を超えていた。担当者の創意工夫の成果であると考え。今後も更なる授業方法の工夫など、教員間での情報交換を心掛けたい。	Q4についてだけ、肯定的な回答が85%を下回っていた。「授業の振り返り」をより丁寧に行うことで「授業中に身に付いてことや、できるようになったこと」の実感を高めたい。
地歴公民	地歴科では肯定的な回答が多く、授業における取り組みが評価されていると思われる。また、全科目共通してQ1の肯定的な回答が多いのは、教科担当間で手法を共有し、ペアワークをはじめとした生徒自身の主体性を促す指導ができていていると考える。	科目において回答に差があり、教科全体として授業力の底上げを図ることが急務である。
数学	肯定的な回答がすべての質問項目で80%以上となっており、昨年度12月、今年度7月より増加した。達成感を実感できる授業の工夫、振り返りの実施などが成果を上げているものと考え。	「他者の考えを知ることにより、自らの考えを広げ深めることができた」と実感できるよう、先哲との対話、生徒の考えを引き出す発問の工夫について、さらに研究していく。
理科	肯定的な回答がすべての質問項目で80%以上となっており、昨年度12月、今年度7月より増加した。演習の時間を取り入れることと、ICT機器を活用した、主体的・対話的で深い学びの実践が行われたと考えられる。	危険を伴う実験・観察などにICT機器を活用するなどしていく必要がある。また、生徒の思考・判断・表現を授業の中で発表する機会を作る必要があると考えられる。
保健体育	全ての質問項目について85%以上の肯定的な回答を得ることができた。例年と同じような数字ではあるが引き続き生徒主体で授業展開を行えるようにしていきたい。	授業の振り返り方法や頻度について、担当教員でバラツキがあることで生徒が戸惑いを感じているところもあるので教科ですり合わせをしていく必要があると考えられる。
芸術	質問項目2は79%だが、それ以外は肯定的な意見が80%を超えていた。音美書の部活動も盛んで、美術科の行事など多く多忙な教科であるが、皆が授業を大切に、校外の教育力に触れる機会を工夫したなどの成果であると考え。	質問項目2における言語化を通して学習する機会が少ないという意見が読み取れる。作品表現に多くの時間をさかなくてはならない教科のジレンマがあるが、他者の考えを知る活動を工夫するよう努めていきたい。
外国語(英語)	Q2においては外国語科において全教科平均を上回っている。ペアワークや読解等の活動から生徒が新たな視点を身に付ける機会を多く提供できていると読みとれる。教科として今後も力を入れていきたい。	Q1におけるかなり当てはまるの回答が31%と低い。そのため、明確な目標の提示と振り返りを丁寧に行い、生徒ができたことを実感できる授業作りを行っていく必要があると考えられる。
家庭	特にQ3、Q7で肯定的な意見が多かった。自分な考えをまとめ、解決方法を見出し、関連付けて理解できていることから、学習を実生活にいかせていると考えられる。	Q5は肯定的な意見が77%と低かったので、グループワークやディスカッションをもう少し取り入れ、生徒の考えを広げ深めていきたい。
情報	全ての質問について肯定的な回答は80%位ある。Q4の割合がクラスによる偏りが大きいので、設備的な(Wifiの年間的な不調の悪化)問題の影響を含め、工夫・対策を考えて行きたい。	設備的な(Wifiの年間的な不調の悪化)問題は年度途中で、有線化することで、授業展開が例年より楽にすることができた。それなりに実技について、成果はあったと考えられる。来年度はもう少し有効な授業展開が出来るようにしたい。